

一般社団法人日本歯科麻酔学会
最優秀発表賞（デンツプライシロナ賞）審査結果について

令和2年10月10日に実施された選考の結果、下記の4つの演題が令和2年度の最優秀発表賞（デンツプライシロナ賞）として選出されました。

【基礎研究】

『脂肪組織由来幹細胞の抽出物が神経系細胞に及ぼす効果の検討』

- 小山 祐平、今井 有蔵、岸本 直隆、氏田 倫章、瀬尾 憲司
（新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔学分野）

『眼窩下神経結紮による神経障害性疼痛モデルラットにおけるグリア細胞間の相互作用』

- 浅野 早哉香、岡田 明子、松川 由美子、小林 あずさ、阿部 郷、佃 亜由美、矢富 香織、坪井 栄達、今村 佳樹
（日本大学大学院歯学研究科歯学専攻 口腔健康科学分野 口腔診断学講座）

【臨床研究】

『ミダゾラム感受性の個人差にかかわる因子の多変量解析』

- 小崎 芳彦、松浦 信幸、一戸 達也
（東京歯科大学歯科麻酔学講座）

『超高感度スマート圧電振動センサ（AYA-P）を利用した呼吸モニタリング法の開発』

- 安藤 慎之介、高木 沙央理、河野 亮子、原田 達也、高橋 敏克、大野 由夏、前田 祐佳、石黒 隆、小長谷 光
（明海大学歯学部病態診断治療学講座歯科麻酔学分野）